

2022年度 第2回 CPC研究会 オンデマンド配信

日 時 : 6月13日(月) ~ 17日(金)
視聴方法 : 申し込みをされた方に、配信 URL をご連絡いたします。
なお、配信 URL の再配布、動画のダウンロードや録画は禁止です。
料 金 : 維持会員・大学官公庁関係=無料 / 非会員=30,000 円
申込締切 : 6月7日(火)

<http://cpc-society.org/>

「昇温脱離法による炭素表面官能基の分析」

群馬大学大学院 石井 孝文 氏

- 1) 炭素表面含酸素官能基の精密分析
- 2) 異種元素ドーピング炭素の昇温脱離分析
- 3) H₂脱離反応速度解析によるエッジサイト空間分布の把握

炭素表面官能基の分析において、昇温脱離法は定量精度が高いという特徴を持ちます。そのため、黒鉛から活性炭まで、数多くの炭素材料に適用可能な表面分析法として、昇温脱離法は広く利用されています。本講演では、炭素表面官能基、とりわけ含酸素官能基、窒素化合物、エッジ水素の化学構造や空間分布を昇温脱離法によって理解する方法論を解説します。

「天然物からのカーボン量子ドットの作製と応用」

横浜市立大学 橘 勝 氏

- 1) カーボン量子ドット(C-QDs)とは
- 2) C-QDsの作製法
- 3) C-QDsの構造や光学特性
- 4) C-QDsのLEDなどへの応用

カーボン量子ドット(C-QDs)は、従来の有害元素を含む金属の量子ドットに比べて安全かつ安価であることから、次世代の蛍光体として注目を集めています。最近では、環境調和性や資源有効活用の観点から、炭素源として天然物資源を用いた C-QDs の合成が数多く報告されています。本講演では、天然物からの C-QDs の合成、特性、応用について、最近の研究を中心に紹介します。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 03-5821-7439
2022年度第2回研究会のオンデマンド視聴を希望します。

お名前: 維持会員 非会員 大学関係
ご所属:
Tel: Fax: E-mail: